

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

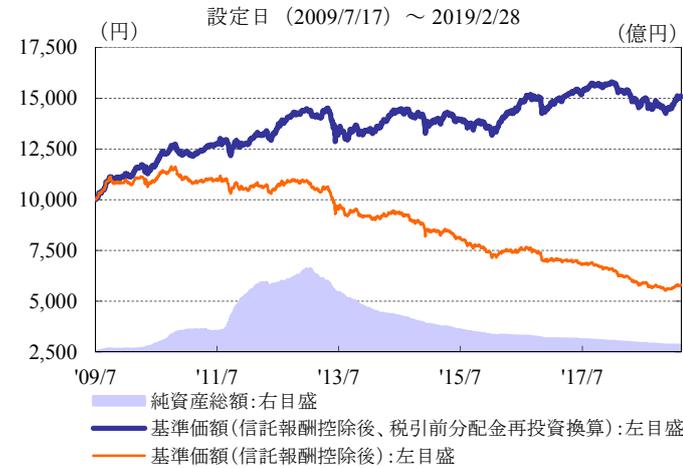
(1/19)

2019年2月末現在

エマージング・ボンド・ファンド・円コース(毎月分配型)

追加型投信/海外/債券(課税上は株式投資信託として取り扱われます)

◆基準価額・純資産総額の推移



※基準価額推移のグラフにおける基準価額(信託報酬控除後、税引前分配金再投資換算)およびファンドの騰落率は、信託報酬控除後の基準価額に対して、税引前分配金を決算日に再投資した修正基準価額をもとに算出、表示 ※騰落率は実際の投資家利回りとは異なります ※分配金は1万口あたりの金額(税引前) ※過去の実績は、将来の運用結果を約束するものではありません

◆基準価額・純資産総額

基準価額	5,803円
純資産総額	69.0億円

◆基準価額騰落率

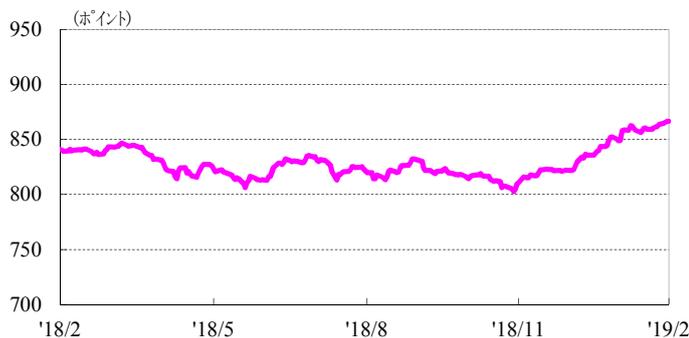
期間	ファンド
1ヵ月	1.5%
3ヵ月	5.5%
6ヵ月	3.6%
1年	-2.0%
3年	10.9%
5年	11.3%
設定来	51.1%

◆分配金推移

決算	分配金
第108期('18/9)	20円
第109期('18/10)	20円
第110期('18/11)	20円
第111期('18/12)	20円
第112期('19/1)	20円
第113期('19/2)	20円
設定来	8,365円

※決算は、毎月16日です(休業日の場合は、翌営業日)
※分配対象額が少額な場合には、委託会社の判断で分配を行わないことがあります

<ご参考>エマージング債券インデックスの推移(1年間)



※「エマージング債券インデックス」は、JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドとは、JPモルガン社が公表する債券指数(米ドルベース)です。1993年12月31日を100として算出されています。 ※当指数は当ファンドのベンチマークではありません ※上記グラフは過去の実績であり、将来のファンドの運用成果等を約束するものではありません

出所: Bloomberg

<ご参考>基準価額の月間騰落要因分析

要因項目	2019年2月
基準価額騰落額	+64円
分配金	-20円
為替要因	-13円
債券要因等	+104円
信託報酬等	-7円

<ご参考>

為替取引によるプレミアム/コスト	-2.6%
------------------	-------

<ご参考>

最終利回り※※	6.0%
---------	------

※基準価額の月間騰落要因分析は、基準価額の騰落額を一定の条件のもとに試算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません ※為替取引によるプレミアム/コストは、対米ドルの直物為替レートと為替予約レート等との価格差から簡便的に算出したものであり、実際の運用における数値とは異なります ※※最終利回りは、当ファンド(除くマネーボールファンド)が投資している「グローバル・エマージング・マーケット・ボンド・ファンド」が投資する債券の利回りであり、実際の投資家利回りとは異なります

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

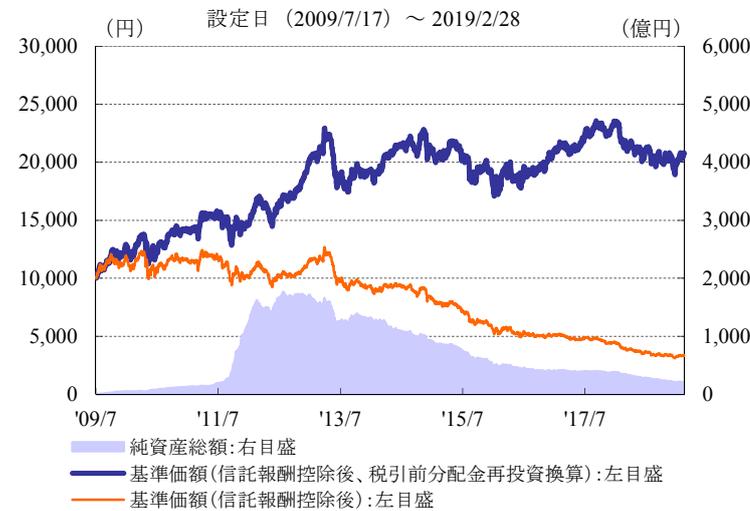
(2/19)

2019年2月末現在

エマージング・ボンド・ファンド・豪ドルコース(毎月分配型)

追加型投信/海外/債券(課税上は株式投資信託として取り扱われます)

◆基準価額・純資産総額の推移



◆基準価額・純資産総額

基準価額	3,358円
純資産総額	208.5億円

◆基準価額騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	2.2%
3ヵ月	1.8%
6ヵ月	2.5%
1年	-5.1%
3年	14.8%
5年	8.3%
設定来	107.8%

◆分配金推移

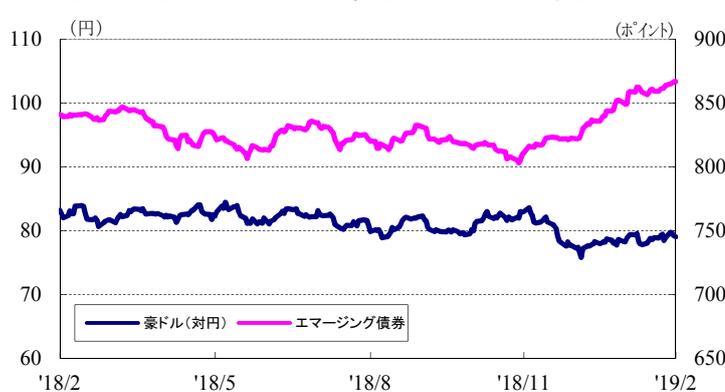
決算	分配金
第108期('18/9)	25円
第109期('18/10)	25円
第110期('18/11)	25円
第111期('18/12)	25円
第112期('19/1)	25円
第113期('19/2)	25円
設定来	14,520円

※決算は、毎月16日です(休業日の場合は、翌営業日)
 ※分配対象額が少額な場合には、委託会社の判断で分配を行わないことがあります

※基準価額推移のグラフにおける基準価額(信託報酬控除後、税引前分配金再投資換算)およびファンドの騰落率は、信託報酬控除後の基準価額に対して、税引前分配金を決算日に再投資した修正基準価額をもとに算出、表示 ※騰落率は実際の投資家利回りとは異なります
 ※分配金は1万口あたりの金額(税引前) ※過去の実績は、将来の運用結果を約束するものではありません

<ご参考>

豪ドル(対円)・エマージング債券インデックスの推移(1年間)



※「エマージング債券インデックス」は、JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド
 JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドとは、JPモルガン社が公表する債券指数(米ドルベース)です。1993年12月31日を100として算出されています。
 ※当指数は当ファンドのベンチマークではありません
 ※上記グラフは過去の実績であり、将来のファンドの運用成果等を約束するものではありません
 出所: Bloomberg

<ご参考> 基準価額の月間騰落要因分析

要因項目	2019年2月
基準価額騰落額	+46円
分配金	-25円
為替要因	+15円
債券要因等	+60円
信託報酬等	-4円

<ご参考>

為替取引によるプレミアム/コスト	-0.5%
------------------	-------

<ご参考>

最終利回り※※	6.0%
---------	------

※基準価額の月間騰落要因分析は、基準価額の騰落額を一定の条件のもとに試算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません
 ※為替取引によるプレミアム/コストは、対米ドルの直物為替レートと為替予約レート等との価格差から簡便的に算出したものであり、実際の運用における数値とは異なります
 ※※最終利回りは、当ファンド(除くマネーパブルファンド)が投資している「グローバル・エマージング・マーケット・ボンド・ファンド」が投資する債券の利回りであり、実際の投資家利回りとは異なります

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

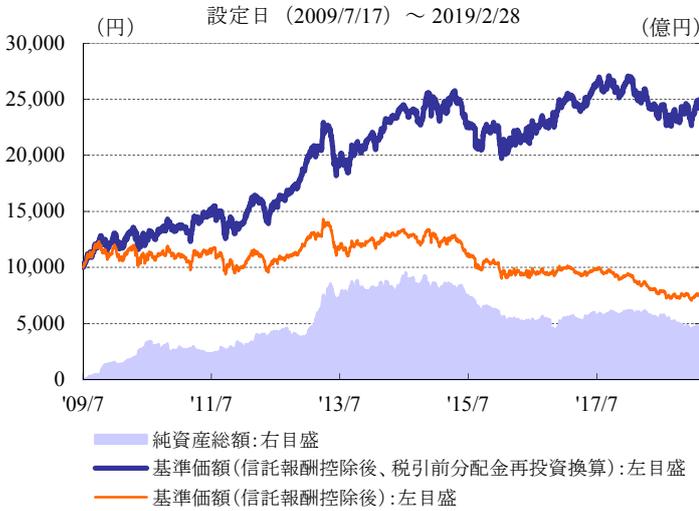
(3/19)

2019年2月末現在

エマージング・ボンド・ファンド・ニュージーランドドルコース(毎月分配型)

追加型投信/海外/債券(課税上は株式投資信託として取り扱われます)

◆基準価額・純資産総額の推移



※基準価額推移のグラフにおける基準価額(信託報酬控除後、税引前分配金再投資換算)およびファンドの騰落率は、信託報酬控除後の基準価額に対して、税引前分配金を決算日に再投資した修正基準価額をもとに算出、表示 ※騰落率は実際の投資家利回りとは異なります ※分配金は1万口あたりの金額(税引前) ※過去の実績は、将来の運用結果を約束するものではありません

◆基準価額・純資産総額

基準価額	7,661円
純資産総額	14.1億円

◆基準価額騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	3.0%
3ヵ月	3.8%
6ヵ月	7.4%
1年	-1.9%
3年	19.4%
5年	14.5%
設定来	149.8%

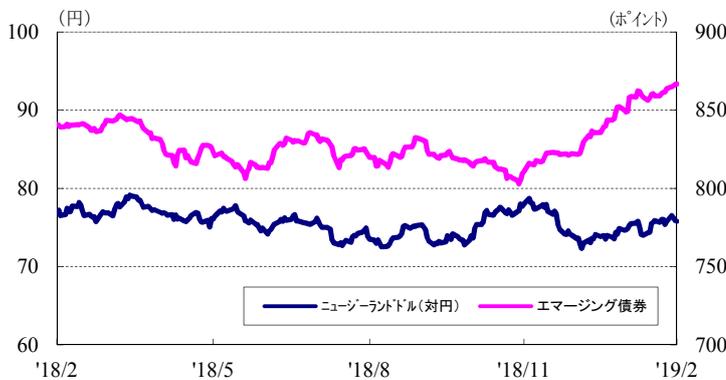
◆分配金推移

決算	分配金
第108期('18/9)	50円
第109期('18/10)	50円
第110期('18/11)	50円
第111期('18/12)	50円
第112期('19/1)	50円
第113期('19/2)	50円
設定来	12,640円

※決算は、毎月16日です(休業日の場合は、翌営業日)
※分配対象額が少額な場合には、委託会社の判断で分配を行わないことがあります

<ご参考>

ニュージーランドドル(対円)・エマージング債券インデックスの推移(1年間)



※「エマージング債券インデックス」は、JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド
JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドとは、JPモルガン社が公表する債券指数(米ドルベース)です。1993年12月31日を100として算出されています。
※当指数は当ファンドのベンチマークではありません
※上記グラフは過去の実績であり、将来のファンドの運用成果等を約束するものではありません
出所: Bloomberg

<ご参考> 基準価額の月間騰落要因分析

要因項目	2019年2月
基準価額騰落額	+177円
分配金	-50円
為替要因	+102円
債券要因等	+134円
信託報酬等	-9円

<ご参考>

為替取引によるプレミアム/コスト	-0.7%
------------------	-------

<ご参考>

最終利回り※※	6.0%
---------	------

※基準価額の月間騰落要因分析は、基準価額の騰落額を一定の条件をもとに試算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません
※為替取引によるプレミアム/コストは、対米ドルの直物為替レートと為替予約レート等との価格差から簡便的に算出したものであり、実際の運用における数値とは異なります
※※最終利回りは、当ファンド(除くマネープールファンド)が投資している「グローバル・エマージング・マーケット・ボンド・ファンド」が投資する債券の利回りであり、実際の投資家利回りとは異なります

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

(4/19)

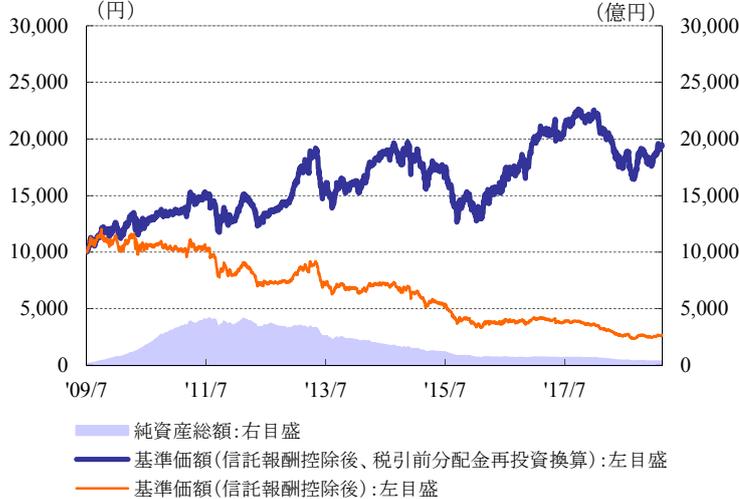
2019年2月末現在

エマージング・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース(毎月分配型)

追加型投信/海外/債券(課税上は株式投資信託として取り扱われます)

◆基準価額・純資産総額の推移

設定日(2009/7/17)～2019/2/28



※基準価額推移のグラフにおける基準価額(信託報酬控除後、税引前分配金再投資換算)およびファンドの騰落率は、信託報酬控除後の基準価額に対して、税引前分配金を決算日に再投資した修正基準価額をもとに算出、表示 ※騰落率は実際の投資家利回りとは異なります ※分配金は1万口あたりの金額(税引前) ※過去の実績は、将来の運用結果を約束するものではありません

◆基準価額・純資産総額

基準価額	2,657円
純資産総額	325.7億円

◆基準価額騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	2.5%
3ヵ月	8.0%
6ヵ月	18.2%
1年	-7.0%
3年	44.7%
5年	19.5%
設定来	95.0%

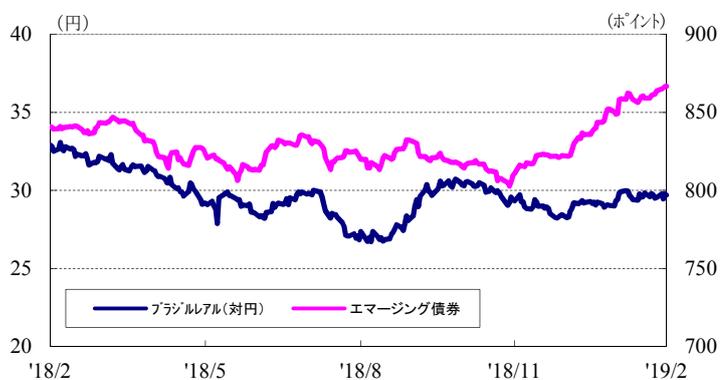
◆分配金推移

決算	分配金
第108期('18/9)	20円
第109期('18/10)	20円
第110期('18/11)	20円
第111期('18/12)	20円
第112期('19/1)	20円
第113期('19/2)	20円
設定来	12,930円

※決算は、毎月16日です(休業日の場合は、翌営業日)
※分配対象額が少額な場合には、委託会社の判断で分配を行わないことがあります

<ご参考>

ブラジルリアル(対円)・エマージング債券インデックスの推移(1年間)



<ご参考> 基準価額の月間騰落要因分析

要因項目	2019年2月
基準価額騰落額	+46円
分配金	-20円
為替要因	+24円
債券要因等	+45円
信託報酬等	-3円

<ご参考>

為替取引によるプレミアム/コスト	2.2%
------------------	------

<ご参考>

最終利回り※※	6.0%
---------	------

※「エマージング債券インデックス」は、JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドとは、JPモルガン社が公表する債券指数(米ドルベース)です。1993年12月31日を100として算出されています。 ※当指数は当ファンドのベンチマークではありません ※上記グラフは過去の実績であり、将来のファンドの運用成果等を約束するものではありません

出所: Bloomberg

※基準価額の月間騰落要因分析は、基準価額の騰落額を一定の条件のもとに試算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません

※為替取引によるプレミアム/コストは、対米ドルの直物為替レートと為替予約レート等との価格差から簡便的に算出したものであり、実際の運用における数値とは異なります

※※最終利回りは、当ファンド(除くマネープールファンド)が投資している「グローバル・エマージング・マーケット・ボンド・ファンド」が投資する債券の利回りであり、実際の投資家利回りとは異なります

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡しします投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

(5/19)

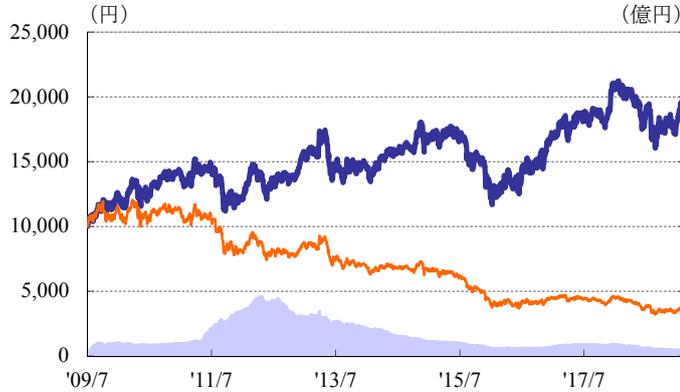
2019年2月末現在

エマージング・ボンド・ファンド・南アフリカランドコース(毎月分配型)

追加型投信/海外/債券(課税上は株式投資信託として取り扱われます)

◆基準価額・純資産総額の推移

設定日(2009/7/17)～2019/2/28



■ 純資産総額: 右目盛
 ■ 基準価額(信託報酬控除後、税引前分配金再投資換算): 左目盛
 ■ 基準価額(信託報酬控除後): 左目盛

※基準価額推移のグラフにおける基準価額(信託報酬控除後、税引前分配金再投資換算)およびファンドの騰落率は、信託報酬控除後の基準価額に対して、税引前分配金を決算日に再投資した修正基準価額をもとに算出、表示 ※騰落率は実際の投資家利回りとは異なります ※分配金は1万円あたりの金額(税引前) ※過去の実績は、将来の運用結果を約束するものではありません

◆基準価額・純資産総額

基準価額	3,637円
純資産総額	9.6億円

◆基準価額騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	0.5%
3ヵ月	3.2%
6ヵ月	12.5%
1年	-8.3%
3年	53.4%
5年	31.1%
設定来	90.7%

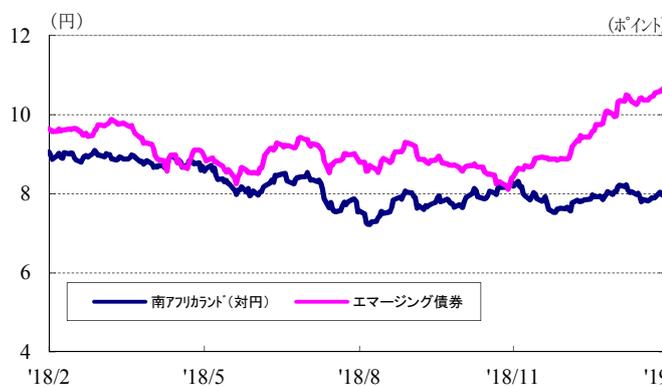
◆分配金推移

決算	分配金
第108期('18/9)	25円
第109期('18/10)	25円
第110期('18/11)	25円
第111期('18/12)	25円
第112期('19/1)	25円
第113期('19/2)	25円
設定来	11,600円

※決算は、毎月16日です(休業日の場合は、翌営業日)
 ※分配対象額が少額な場合には、委託会社の判断で分配を行わないことがあります

<ご参考>

南アフリカランド(対円)・エマージング債券インデックスの推移(1年間)



※「エマージング債券インデックス」は、JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド
 JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドとは、JPモルガン社が公表する債券指数(米ドルベース)です。1993年12月31日を100として算出されています。
 ※当指数は当ファンドのベンチマークではありません
 ※上記グラフは過去の実績であり、将来のファンドの運用成果等を約束するものではありません
 出所: Bloomberg

<ご参考> 基準価額の月間騰落要因分析

要因項目	2019年2月
基準価額騰落額	-8円
分配金	-25円
為替要因	-42円
債券要因等	+64円
信託報酬等	-4円

<ご参考>

為替取引によるプレミアム/コスト	4.0%
------------------	------

<ご参考>

最終利回り※※	6.0%
---------	------

※基準価額の月間騰落要因分析は、基準価額の騰落額を一定の条件をもとに試算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません
 ※為替取引によるプレミアム/コストは、対米ドルの直物為替レートと為替予約レート等との価格差から簡便的に算出したものであり、実際の運用における数値とは異なります
 ※※最終利回りは、当ファンド(除くマネープールファンド)が投資している「グローバル・エマージング・マーケット・ボンド・ファンド」が投資する債券の利回りであり、実際の投資家利回りとは異なります

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

(6/19)

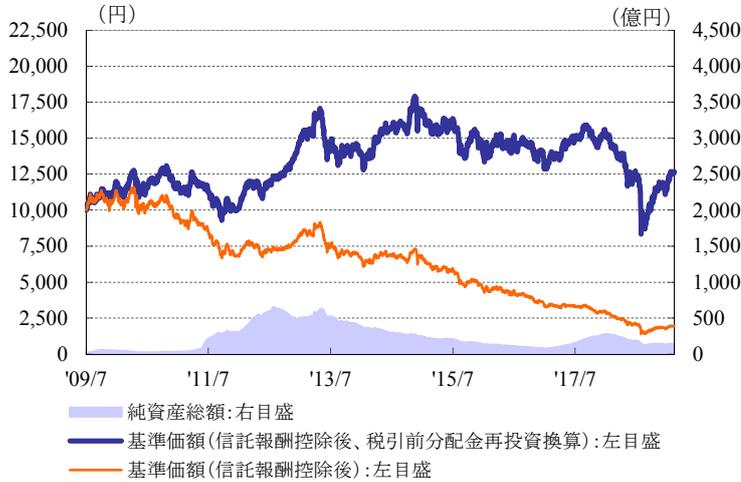
2019年2月末現在

エマージング・ボンド・ファンド・トルコリラコース(毎月分配型)

追加型投信/海外/債券(課税上は株式投資信託として取り扱われます)

◆基準価額・純資産総額の推移

設定日(2009/7/17)～2019/2/28



◆基準価額・純資産総額

基準価額	1,960円
純資産総額	136.4億円

◆分配金推移

決算	分配金
第108期('18/9)	15円
第109期('18/10)	15円
第110期('18/11)	15円
第111期('18/12)	15円
第112期('19/1)	15円
第113期('19/2)	15円
設定来	11,060円

◆基準価額騰落率

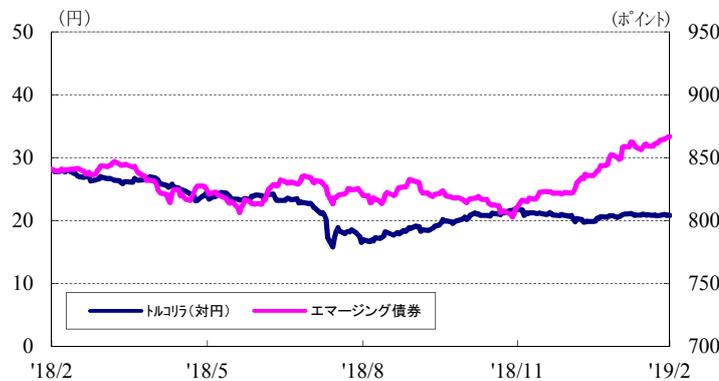
期間	ファンド
1ヵ月	3.4%
3ヵ月	6.2%
6ヵ月	45.1%
1年	-12.7%
3年	-9.8%
5年	-7.5%
設定来	27.0%

※決算は、毎月16日です(休業日の場合は、翌営業日)
 ※分配対象額が少額な場合には、委託会社の判断で分配を行わないことがあります

※基準価額推移のグラフにおける基準価額(信託報酬控除後、税引前分配金再投資換算)およびファンドの騰落率は、信託報酬控除後の基準価額に対して、税引前分配金を決算日に再投資した修正基準価額をもとに算出、表示 ※騰落率は実際の投資家利回りとは異なります
 ※分配金は1万口あたりの金額(税引前) ※過去の実績は、将来の運用結果を約束するものではありません

<ご参考>

トルコリラ(対円)・エマージング債券インデックスの推移(1年間)



<ご参考> 基準価額の月間騰落要因分析

要因項目	2019年2月
基準価額騰落額	+49円
分配金	-15円
為替要因	+32円
債券要因等	+35円
信託報酬等	-2円

<ご参考>

為替取引によるプレミアム/コスト	19.3%
------------------	-------

<ご参考>

最終利回り※※	6.0%
---------	------

※基準価額の月間騰落要因分析は、基準価額の騰落額を一定の条件をもとに試算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません

※為替取引によるプレミアム/コストは、対米ドルの直物為替レートと為替予約レート等との価格差から簡便的に算出したものであり、実際の運用における数値とは異なります

※※最終利回りは、当ファンド(除くマネープールファンド)が投資している「グローバル・エマージング・マーケッツ・ボンド・ファンド」が投資する債券の利回りであり、実際の投資家利回りとは異なります

※「エマージング債券インデックス」は、JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドとは、JPモルガン社が公表する債券指数(米ドルベース)です。1993年12月31日を100として算出されています。

※当指数は当ファンドのベンチマークではありません

※上記グラフは過去の実績であり、将来のファンドの運用成果等を約束するものではありません

出所: Bloomberg

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等で用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

(7/19)

2019年2月末現在

エマージング・ボンド・ファンド・中国元コース(毎月分配型)

追加型投信/海外/債券(課税上は株式投資信託として取り扱われます)

◆基準価額・純資産総額の推移



◆基準価額・純資産総額

基準価額	14,420円
純資産総額	3.1億円

◆基準価額騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	3.4%
3ヵ月	8.3%
6ヵ月	7.7%
1年	-0.1%
3年	20.3%
5年	37.1%
設定来	105.7%

◆分配金推移

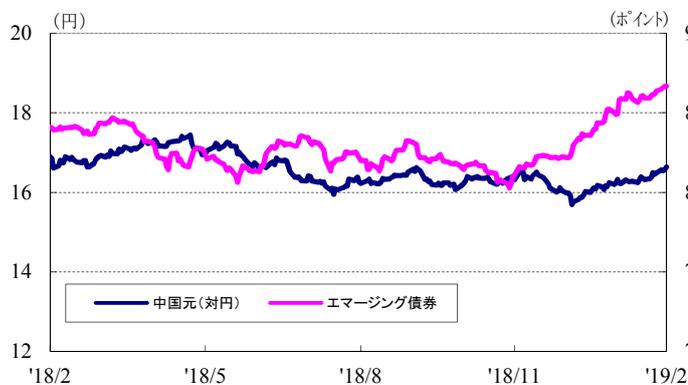
決算	分配金
第101期('18/9)	40円
第102期('18/10)	40円
第103期('18/11)	40円
第104期('18/12)	40円
第105期('19/1)	40円
第106期('19/2)	40円
設定来	4,320円

※決算は、毎月16日です(休業日の場合は、翌営業日)
※分配対象額が少額な場合には、委託会社の判断で分配を行わないことがあります

※基準価額推移のグラフにおける基準価額(信託報酬控除後、税引前分配金再投資換算)およびファンドの騰落率は、信託報酬控除後の基準価額に対して、税引前分配金を決算日に再投資した修正基準価額をもとに算出、表示 ※騰落率は実際の投資家利回りとは異なります
※分配金は1万口あたりの金額(税引前) ※過去の実績は、将来の運用結果を約束するものではありません

<ご参考>

中国元(対円)・エマージング債券インデックスの推移(1年間)



※「エマージング債券インデックス」は、JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド
JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドとは、JPモルガン社が公表する債券指数(米ドルベース)です。1993年12月31日を100として算出されています。
※当指数は当ファンドのベンチマークではありません
※上記グラフは過去の実績であり、将来のファンドの運用成果等を約束するものではありません
出所: Bloomberg

<ご参考> 基準価額の月間騰落要因分析

要因項目	2019年2月
基準価額騰落額	+435円
分配金	-40円
為替要因	+240円
債券要因等	+253円
信託報酬等	-17円

<ご参考>

為替取引によるプレミアム/コスト	2.1%
------------------	------

<ご参考>

最終利回り※※	6.0%
---------	------

※基準価額の月間騰落要因分析は、基準価額の騰落額を一定の条件をもとに試算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません
※為替取引によるプレミアム/コストは、対米ドルの直物為替レートと為替予約レート等との価格差から簡便的に算出したものであり、実際の運用における数値とは異なります
※※最終利回りは、当ファンド(除くマネープールファンド)が投資している「グローバル・エマージング・マーケット・ボンド・ファンド」が投資する債券の利回りであり、実際の投資家利回りとは異なります

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

(8/19)

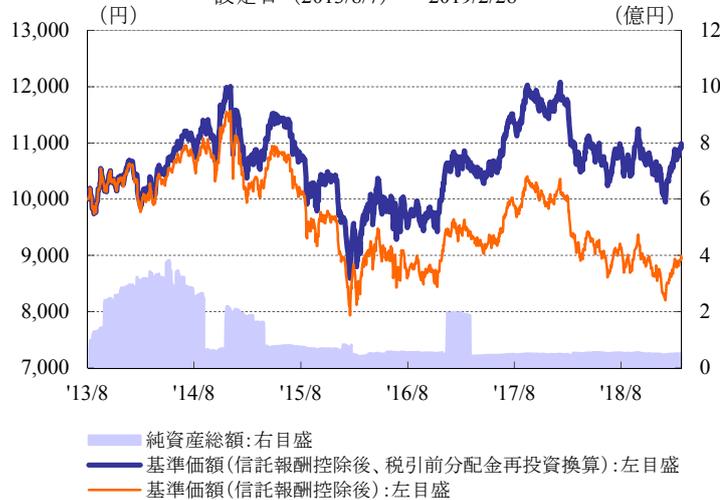
2019年2月末現在

エマージング・ボンド・ファンド・カナダドルコース(毎月分配型)

追加型投信/海外/債券(課税上は株式投資信託として取り扱われます)

◆基準価額・純資産総額の推移

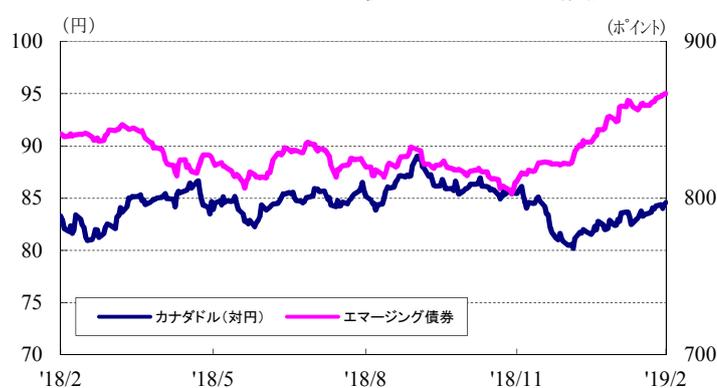
設定日(2013/8/7)～2019/2/28



※基準価額推移のグラフにおける基準価額(信託報酬控除後、税引前分配金再投資換算)およびファンドの騰落率は、信託報酬控除後の基準価額に対して、税引前分配金を決算日に再投資した修正基準価額をもとに算出、表示 ※騰落率は実際の投資家利回りとは異なります
 ※分配金は1万口あたりの金額(税引前) ※過去の実績は、将来の運用結果を約束するものではありません

<ご参考>

カナダドル(対円)・エマージング債券インデックスの推移(1年間)



※「エマージング債券インデックス」は、JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド
 JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドとは、JPモルガン社が公表する債券指数(米ドルベース)です。1993年12月31日を100として算出されています。
 ※当指数は当ファンドのベンチマークではありません
 ※上記グラフは過去の実績であり、将来のファンドの運用成果等を約束するものではありません
 出所: Bloomberg

◆基準価額・純資産総額

基準価額	8,993円
純資産総額	0.5億円

◆基準価額騰落率

期間	ファンド
1か月	3.2%
3か月	5.0%
6か月	2.8%
1年	-0.0%
3年	16.4%
5年	8.6%
設定来	9.9%

◆分配金推移

決算	分配金
第61期('18/9)	30円
第62期('18/10)	30円
第63期('18/11)	30円
第64期('18/12)	30円
第65期('19/1)	30円
第66期('19/2)	30円
設定来	1,920円

※決算は、毎月16日です(休業日の場合は、翌営業日)
 ※分配対象額が少額な場合には、委託会社の判断で分配を行わないことがあります

<ご参考> 基準価額の月間騰落要因分析

要因項目	2019年2月
基準価額騰落額	+251円
分配金	-30円
為替要因	+134円
債券要因等	+158円
信託報酬等	-11円

<ご参考>

為替取引によるプレミアム/コスト	-0.8%
------------------	-------

<ご参考>

最終利回り※※	6.0%
---------	------

※基準価額の月間騰落要因分析は、基準価額の騰落額を一定の条件をもとに試算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません

※為替取引によるプレミアム/コストは、対米ドルの直物為替レートと為替予約レート等との価格差から簡便的に算出したものであり、実際の運用における数値とは異なります

※※最終利回りは、当ファンド(除くマネープールファンド)が投資している「グローバル・エマージング・マーケット・ボンド・ファンド」が投資する債券の利回りであり、実際の投資家利回りとは異なります

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

(9/19)

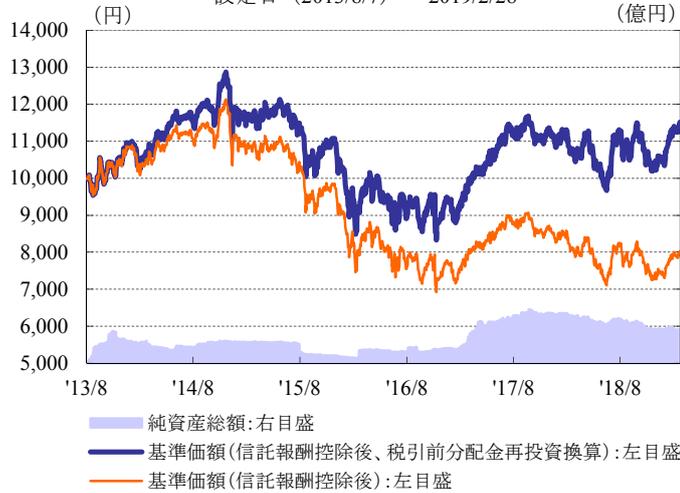
2019年2月末現在

エマージング・ボンド・ファンド・メキシコペソコース(毎月分配型)

追加型投信/海外/債券(課税上は株式投資信託として取り扱われます)

◆基準価額・純資産総額の推移

設定日(2013/8/7)～2019/2/28



◆基準価額・純資産総額

基準価額	7,998円
純資産総額	4.6億円

◆分配金推移

決算	分配金
第61期('18/9)	50円
第62期('18/10)	50円
第63期('18/11)	50円
第64期('18/12)	50円
第65期('19/1)	50円
第66期('19/2)	50円
設定来	3,200円

◆基準価額騰落率

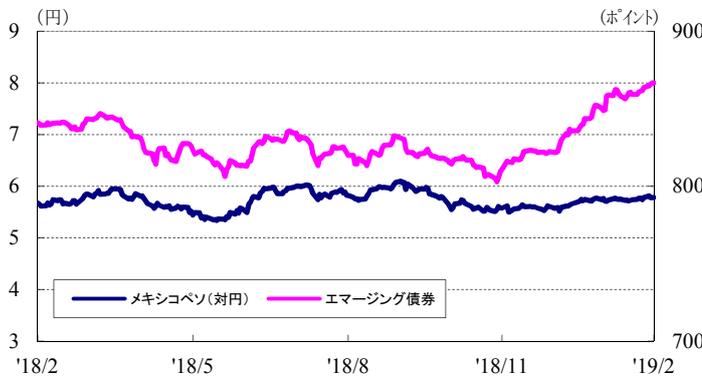
期間	ファンド
1ヵ月	2.9%
3ヵ月	10.6%
6ヵ月	6.8%
1年	6.8%
3年	22.1%
5年	7.6%
設定来	14.6%

※決算は、毎月16日です(休業日の場合は、翌営業日)
 ※分配対象額が少額な場合には、委託会社の判断で分配を行わないことがあります

※基準価額推移のグラフにおける基準価額(信託報酬控除後、税引前分配金再投資換算)およびファンドの騰落率は、信託報酬控除後の基準価額に対して、税引前分配金を決算日に再投資した修正基準価額をもとに算出、表示 ※騰落率は実際の投資家利回りとは異なります
 ※分配金は1万口あたりの金額(税引前) ※過去の実績は、将来の運用結果を約束するものではありません

<ご参考>

メキシコペソ(対円)・エマージング債券インデックスの推移(1年間)



<ご参考> 基準価額の月間騰落要因分析

要因項目	2019年2月
基準価額騰落額	+177円
分配金	-50円
為替要因	+87円
債券要因等	+150円
信託報酬等	-10円

<ご参考>

為替取引によるプレミアム/コスト	5.4%
------------------	------

<ご参考>

最終利回り※※	6.0%
---------	------

※「エマージング債券インデックス」は、JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドとは、JPモルガン社が公表する債券指数(米ドルベース)です。1993年12月31日を100として算出されています。

※当指数は当ファンドのベンチマークではありません

※上記グラフは過去の実績であり、将来のファンドの運用成果等を約束するものではありません

出所: Bloomberg

※基準価額の月間騰落要因分析は、基準価額の騰落額を一定の条件のもとに試算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません

※為替取引によるプレミアム/コストは、対米ドルの直物為替レートと為替予約レート等との価格差から簡便的に算出したものであり、実際の運用における数値とは異なります

※※最終利回りは、当ファンド(除くマネープールファンド)が投資している「グローバル・エマージング・マーケット・ボンド・ファンド」が投資する債券の利回りであり、実際の投資家利回りとは異なります

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

(10/19)

2019年2月末現在

運用状況

当ファンド(除くマネープールファンド)が投資している「グローバル・エマージング・マーケット・ボンド・ファンド」
(TRP Global Emerging Markets Bond Fund)の運用状況

※比率の合計は100%にならない場合があります

◆資産特性

デュレーション	6.4年
平均格付け	BB
直接利回り	6.2%
最終利回り	6.0%

※ファンドの最終利回りおよび直接利回りは実際の投資家利回りとは異なります

※デュレーションとは「投資元本の平均的な回収期間」を表す指標です。「金利変動に対する債券価格の変動性」の指標としても利用され、この値が長いほど金利の変動に対する債券価格の変動が大きくなります
 ※平均格付けとは、基準日時点で当ファンドが保有している有価証券に係る信用格付けを加重平均したものであり、当ファンドに係る信用格付けではありません

◆地域別構成

地域	比率
中南米	38.5%
欧州	19.3%
アジア	16.5%
中東・アフリカ	21.2%
その他	2.8%
短期金融商品等	1.6%
合計	100.0%

◆国別構成

国名	比率
ブラジル	9.3%
トルコ	8.4%
南アフリカ	7.4%
メキシコ	7.2%
アルゼンチン	6.9%
セルビア	5.2%
インドネシア	4.1%
スリランカ	3.6%
バハマ	3.1%
中国	3.0%
その他	40.2%
短期金融商品等	1.6%
合計	100.0%

◆格付別構成

格付け	比率
AAA	2.7%
AA	0.3%
A	1.4%
BBB	30.0%
BB	31.0%
B	30.6%
CCC	0.0%
CC	0.0%
C以下	0.0%
NR	2.4%
短期金融商品等	1.6%
合計	100.0%

◆債券種別構成

種別	比率
国債	80.7%
特殊債、社債等	17.7%
短期金融商品等	1.6%
合計	100.0%

※特殊債とは、国際機関債、政府機関債等を指します

※格付け記号の表記に当たっては、S&Pの表記方法で統一し、+、-の符号は考慮せず掲載しています

◆組入上位銘柄

<組入銘柄数 152 銘柄>

	銘柄	国名	種別	格付け	クーポン	償還日	組入比率
1	SERBIA	セルビア	国債	BB	7.250%	2021/9/28	5.2%
2	TURKEY	トルコ	国債	BB-	6.250%	2022/9/26	4.5%
3	REPUBLIC OF ARGENTINA	アルゼンチン	国債	B	7.500%	2026/4/22	3.5%
4	US TREASURY N/B	アメリカ	国債	AAA	1.625%	2019/7/31	2.7%
5	ESKOM HOLDINGS SOC LTD	南アフリカ	社債	B-	7.125%	2025/2/11	2.5%
6	UKRAINE	ウクライナ	国債	B-	7.750%	2025/9/1	2.5%
7	NIGERIA	ナイジェリア	国債	B	6.500%	2027/11/28	2.4%
8	ARGENTINA	アルゼンチン	国債	B	8.280%	2033/12/31	2.3%
9	DOMINICAN REPUBLIC	ドミニカ共和国	国債	BB-	6.850%	2045/1/27	2.1%
10	EXPORT-IMPORT BK INDIA	インド	社債	BBB	3.375%	2026/8/5	2.1%

※格付けは、原則、S&P、Moody'sの格付けを採用。複数社の格付けがある場合は、原則として高い方を採用。格付け記号の表記に当たっては、S&Pの表記方法で統一し掲載しています

※比率はすべて純資産総額対比
 ※ティール・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッド提供データより作成

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

マーケットコメント

◆マーケット・レビュー

2月も投資家のリスク選好度が高い状況が続く、エマージング債券市場は上昇しました。同市場への資金流入が続き、少量の新規発行は十分にカバーされました。アフリカ、中東を中心に、全ての地域がプラスとなりました。ハイイールド債、投資適格債はともにプラスとなりましたが、前者が後者をアウトパフォームしました。

米国は中国製品への追加関税の賦課を延期し、世界貿易を巡る懸念はやや弱まりました。中国の経済指標は引き続き経済の減速を示しました。中国人民銀行(中央銀行)は、1月の銀行融資残高と社会融資総量が過去最高を記録したと発表し、信用縮小への懸念が弱まりました。メキシコのロペスオブラドール大統領は、国営石油会社PEMEXの金融支援を発表しましたが、支援額は市場予想を下回りました。大手格付会社Moody'sは、この支援はメキシコ政府にとってはマイナスであるとの見方を示しました。メキシコ中央銀行は政策金利を据え置きましたが、議事録では、PEMEXの高水準の債務が将来の利上げに繋がる可能性が示唆されました。南アフリカでは、多大な負債を抱える国営電力公社エスコムが重石となりました。同国予算は、同社への大規模な支援が組み込まれており、大手格付会社のMoody'sとS&Pは、いずれも同国財政を圧迫する可能性を示しました。ブラジルのボルソナロ大統領は、財政負担の軽減効果が大きな年金改革法案を議会に提出しました。ベネズエラでは、米国等支援グループが手配した支援物資の搬入をマドゥロ大統領を支える軍当局が妨害し、衝突が深まりました。インドでは、インフレ率が低下し、予想外の利下げが実施されたにもかかわらず、カシミール地方での爆弾攻撃やパキスタン軍によるインド機の撃墜等、パキスタンとの緊張が高まる中で債券市場が下落しました。月後半には、インド機パイロットのインドへの帰還で合意に至り、両国間の緊張はやや緩和されました。

◆運用動向

ブラジル、オマーン、エジプトはプラスとなった一方、アルゼンチン、ロシアは絶対リターンでマイナスとなりました。

◆今後の見通し

市場のボラティリティ(価格変動性)はやや落ち着きましたが、貿易戦争に関する不透明性や世界経済成長の減速に対する懸念は依然として残っています。エマージング債券市場もこのような世界的なリスク環境の影響を免れないものの、当ファンドでは慎重ながらも楽観的な見方をしています。エマージング債券市場は依然として債券市場の中でトップクラスの利回りを提供しています。これは市場以外の要因によるボラティリティ上昇に対する大きな緩衝材であると見ています。また、FRB(米連邦準備制度理事会)がハト派色を強め、米ドル高の勢いがやや弱まるなど、明るい兆しも見えています。大半の主要エマージング国では、堅調な経済成長や政府支出の厳格化、概ね均衡的な經常収支、合理的な経済政策など、総じてファンダメンタルズ(基礎的条件)はこれまで通り下支え要因となっています。

当面は、中国、メキシコ、アルゼンチン、南アフリカなどでの各国固有要因に加え、エマージング市場以外に起因するマクロリスクが2019年に市場を動かす主な要因となると見ています。当ファンドでは、ブラジルや南アフリカなど前向きな改革気運をもつ国や、アルゼンチンのように自国のファンダメンタルズにおけるリスクに対して割安な市場など、固有の投資機会に着目しています。改革の恩恵を受け、ソブリン債と比較してキャリーの魅力が高い準ソブリン債をオーバーウェイトとしています。低ベータの国のアンダーウェイトを継続する一方、バハマ、バミューダ、湾岸諸国など複数の国のポジションを維持しています。

※当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくはファンドの運用方針等について、運用担当者(ファンドマネージャー他)の見方あるいは考え方を記載したもので当該運用方針は変更される場合があり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、将来の運用成果等を約束するものではありません。※ティール・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッド提供データにより作成

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

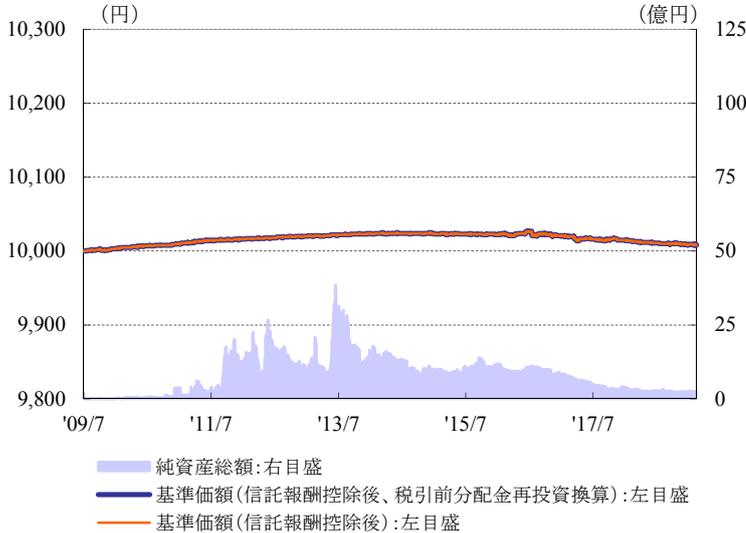
(12/19)

2019年2月末現在

エマージング・ボンド・ファンド(マネープールファンド)
追加型投信/国内/債券(課税上は株式投資信託として取り扱われます)

◆基準価額・純資産総額の推移

設定日(2009/7/17)～2019/2/28



※基準価額推移のグラフにおける基準価額(信託報酬控除後、税引前分配金再投資換算)およびファンドの騰落率は、信託報酬控除後の基準価額に対して、税引前分配金を決算日に再投資した修正基準価額をもとに算出、表示 ※騰落率は実際の投資家利回りとは異なります ※分配金は1万口あたりの金額(税引前) ※過去の実績は、将来の運用結果を約束するものではありません

◆基準価額・純資産総額

基準価額	10,008円
純資産総額	2.5億円

◆基準価額騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	-0.0%
3ヵ月	-0.0%
6ヵ月	-0.0%
1年	-0.0%
3年	-0.1%
5年	-0.2%
設定来	0.1%

◆分配金推移

決算	分配金
第14期('16/7)	0円
第15期('17/1)	0円
第16期('17/7)	0円
第17期('18/1)	0円
第18期('18/7)	0円
第19期('19/1)	0円
設定来	0円

※決算は、1月、7月の16日です(休業日の場合は、翌営業日)
※分配対象額が少額な場合には、委託会社の判断で分配を行わないことがあります

◆資産構成

組入資産	比率
キャッシュ・マネージメント・マザーファンド	100.0%
短期金融商品等	0.0%
合計	100.0%

マネープールファンドの資産内容(キャッシュ・マネージメント・マザーファンド)

◆キャッシュ・マネージメント・マザーファンドの種別構成

種別	比率
国債	0.0%
地方債	1.6%
特殊債	43.4%
社債	23.6%
短期金融商品等	31.5%
合計	100.0%

日銀の「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」導入に伴い、残存1年未満の国債・政府保証債の市場利回りはマイナス圏で推移しています。これを踏まえ、マイナス利回りの債券についても購入および保有する場合があります。

◆キャッシュ・マネージメント・マザーファンドの組入上位銘柄

	銘柄	種別	組入比率
1	85 政保道路機構	特殊債	8.4%
2	2 政保地方公共団	特殊債	8.4%
3	82 政保道路機構	特殊債	5.3%
4	7 政保原賠・廃炉	特殊債	3.1%
5	20 政保西日本道	特殊債	2.9%
6	77 政保道路機構	特殊債	2.9%
7	80 政保道路機構	特殊債	2.8%
8	295 北陸電力	社債	2.6%
9	2 大日本印刷	社債	2.6%
10	2 第一三共	社債	2.6%

<組入銘柄数 22 銘柄>

※比率はすべて純資産総額対比
※比率の合計は100%にならない場合があります

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

(13/19)

ファンドの目的

[各ファンド（マネープールファンドを除く）]：主に米ドル建ての新興国の政府および政府機関等の発行する債券を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を目指して運用を行います。

[マネープールファンド]：安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。

ファンドの特色

- 当ファンドは以下のファンドで構成されています。
- ・エマージング・ボンド・ファンド・円コース（毎月分配型）
 - ・エマージング・ボンド・ファンド・豪ドルコース（毎月分配型）
 - ・エマージング・ボンド・ファンド・ニュージーランドドルコース（毎月分配型）
 - ・エマージング・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース（毎月分配型）
 - ・エマージング・ボンド・ファンド・南アフリカランドコース（毎月分配型）
 - ・エマージング・ボンド・ファンド・トルコリラコース（毎月分配型）
 - ・エマージング・ボンド・ファンド・中国元コース（毎月分配型）
 - ・エマージング・ボンド・ファンド・カナダドルコース（毎月分配型）
 - ・エマージング・ボンド・ファンド・メキシコペソコース（毎月分配型）
- ※以下、各ファンド（マネープールファンドを除く）といいます。
- ・エマージング・ボンド・ファンド（マネープールファンド）
- ※以下、マネープールファンドといいます。

1. 各ファンド（マネープールファンドを除く）は、主に米ドル建ての新興国の政府および政府機関等の発行する債券を実質的な主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指します。
2. 為替取引手法の異なる9つのコースとマネープールファンドがあり、各ファンド間でスイッチングが可能です。
3. 各ファンド（マネープールファンドを除く）は、毎月の決算時に収益の分配を目指します。
 - ・各ファンド（マネープールファンドを除く）の決算日は毎月16日（休業日の場合は翌営業日）とします。
 - ・分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。
 - ・収益分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額な場合等には分配を行わないことがあります。
 - ・将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

マネープールファンドの特色

1. マネープールファンドは、キャッシュ・マネジメント・マザーファンドへの投資を通じて、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。
 - ・マネープールファンドへの取得申込みは、マネープールファンドを除く通貨選択型エマージング・ボンド・ファンドのファンドからスイッチングした場合に限定します。
2. マネープールファンドは、年2回の決算時に収益の分配を目指します。
 - ・マネープールファンドの決算日は毎年1月、7月の16日（休業日の場合は翌営業日）とします。
 - ・分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。
 - ・収益分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額な場合等には分配を行わないことがあります。
 - ・将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク（詳しくは最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください）

- 当ファンドは、投資信託証券を通じて実質的に債券など値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。また、外貨建資産は、為替の変動による影響も受けます。したがって、投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。
- 各ファンド（マネープールファンドを除く）の基準価額を変動させる要因として主に、**■流動性リスク** **■金利変動に伴うリスク** **■信用リスク** **■為替リスク** **■カントリーリスク** **■新興国への投資のリスク**等があります。
- マネープールファンドの基準価額を変動させる要因として主に、**■流動性リスク** **■金利変動に伴うリスク** **■信用リスク**等があります。
- ただし、上記はすべてのリスクを表したものではありません。

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書（交付目論見書）は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します（外貨建資産には為替変動による影響もあります）ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

下記は投資信託における「収益分配金に関する留意事項」を説明するものであり、当ファンドの分配金額や基準価額を示すものではありません。

収益分配金に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

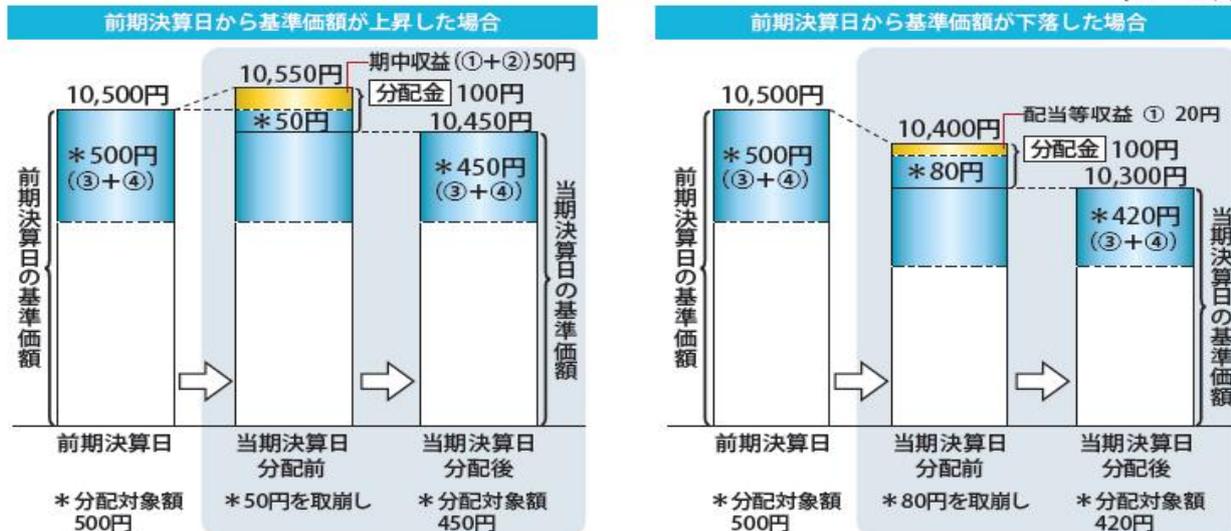


(イメージ図)

分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

分配金が計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

(イメージ図)



(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

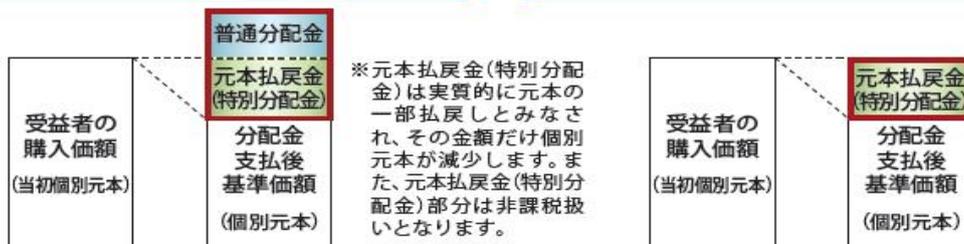
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

(イメージ図)

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金: 個別元本(受益者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

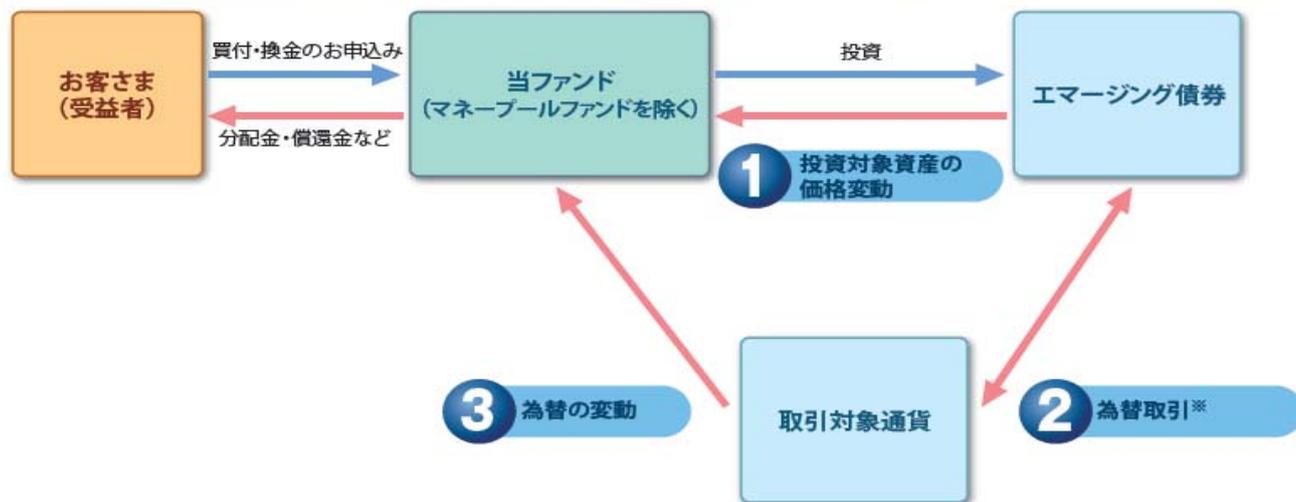
元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

通貨選択型ファンドの収益のイメージ

- ◆ 当ファンド(マネーパールファンドを除く)は主に米ドル建てのエマージング債券への投資に加えて、為替取引を活用して運用を行うよう設計された投資信託です。

当ファンド(マネーパールファンドを除く)のイメージ図



※取引対象通貨が円以外の場合には、当該取引対象通貨の対円での為替リスクが発生することに留意が必要です。

- ◆ 当ファンド(マネーパールファンドを除く)の収益の源泉は以下の3つの要素が挙げられます。これらの収益の源泉に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。

収益の源泉	収益を得られるケース	損失やコストが発生するケース
<p>1 エマージング債券の利息収入、値上がり/値下がり</p>	<p>債券価格の上昇</p> <p>金利の低下</p> <p>債券の発行体の信用力上昇</p>	<p>債券価格の下落</p> <p>金利の上昇</p> <p>債券の発行体の信用力低下</p>
<p>2 為替取引によるプレミアム/コスト</p>	<p>プレミアム(金利差相当分の収益)の発生</p> <p>取引対象通貨の短期金利 > 米ドルの短期金利</p>	<p>コスト(金利差相当分の費用)の発生</p> <p>取引対象通貨の短期金利 < 米ドルの短期金利</p>
<p>3 為替差益/差損</p>	<p>為替差益の発生</p> <p>取引対象通貨に対して円安</p>	<p>為替差損の発生</p> <p>取引対象通貨に対して円高</p>

※円コース(毎月分配型)は、原則として対円での為替取引を行い為替変動リスクの低減に努めます。
 ※過去の事実から見た一般的な傾向を表したものであり、上図のとおりにならない場合があります。

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

(16/19)

ファンドの費用（詳しくは最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください)

投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料 [各ファンド(マネープールファンドを除く)]
購入価額に3.24%(税抜3.0%)を上限として販売会社毎に定めた率を乗じて得た額とします。
※詳細については、お申込みの各販売会社までお問い合わせください。
購入時手数料は、販売会社による商品・投資環境の説明および情報提供、ならびに販売の事務等の対価です。
[マネープールファンド]
ありません。
※マネープールファンドへの取得申込みは、スイッチングの場合に限ります。
※スイッチングのお取扱いについては、各販売会社までお問い合わせください。
- 信託財産留保額 [各ファンド(マネープールファンドを除く)]
換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.1%を乗じて得た額とします。
[マネープールファンド]
ありません。
- スwitching手数料 [各ファンド(マネープールファンドを除く)]
スイッチング手数料は販売会社により異なります。また、スイッチング時には、信託財産留保額(スイッチングにあたり解約されるコースの基準価額に対して0.1%を乗じて得た額)が差し引かれます。
※別途、ご換金時と同様の税金がかかります。
※スイッチングのお取扱いについては、各販売会社までお問い合わせください。
[マネープールファンド]
スイッチング手数料はありません。
※別途、ご換金時と同様の税金がかかります。
※スイッチングのお取扱いについては、各販売会社までお問い合わせください。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用(信託報酬) [各ファンド(マネープールファンドを除く)]
毎日、信託財産の純資産総額に年率1.5984%(税抜1.48%)を乗じて得た額とします。運用管理費用(信託報酬)は、毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。

<運用管理費用(信託報酬)の配分>

当該ファンドの運用管理費用(信託報酬)

委託会社	年率0.85%(税抜)	ファンドの運用等の対価
販売会社	年率0.60%(税抜)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
受託会社	年率0.03%(税抜)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
投資対象とする投資信託証券	年率0.09%程度*	投資対象とする投資信託証券の管理報酬等
実質的な負担	年率1.6884%(税込)程度	—

*当ファンドが投資対象とする投資信託証券の管理報酬等には関係法人により下限金額が設定されているものがあります。

[マネープールファンド]

毎日、信託財産の純資産総額に年率0.648%(税抜0.60%)以内の率を乗じて得た額とします。運用管理費用(信託報酬)は、毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。

<運用管理費用(信託報酬)の配分>

委託会社	純資産総額に上記の率を乗じて得た額を下記の比率で配分します。	—
委託会社	45%	ファンドの運用等の対価
販売会社	45%	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
受託会社	10%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価

- その他の費用・手数料
財務諸表の監査に要する費用、有価証券売買時の売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用等は信託財産から支払われます。
※ 監査報酬の料率等につきましては請求目論見書をご参照ください。監査報酬以外の費用等につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

(17/19)

お申込みメモ (詳しくは最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください)

- 信託期間 [円コース、豪ドルコース、ニュージーランドドルコース、ブラジルリアルコース、南アフリカランドコース、トルコリラコース、マネープールファンド]…2009年7月17日～2024年7月16日
[中国元コース]…2010年2月1日～2024年7月16日
[カナダドルコース、メキシコペソコース]…2013年8月7日～2024年7月16日
- 購入単位 販売会社がそれぞれ定めた単位とします。
※お申込みの販売会社までお問い合わせください。
※マネープールファンドの取得申込みは、各ファンド(マネープールファンドを除く)からスイッチングした場合に限ります。
- 購入価額 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- 換金単位 販売会社がそれぞれ定めた単位とします。
※お申込みの販売会社までお問い合わせください。
- 換金価額 [各ファンド(マネープールファンドを除く)]
換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
[マネープールファンド]
換金申込受付日の翌営業日の基準価額
- 換金代金 換金申込受付日から起算して、原則として6営業日目からお支払いします。
- 購入・換金申込受付不可日 各ファンド(マネープールファンドを除く)につき、ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、英国証券取引所またはロンドンの銀行の休業日と同日の場合はお申込みできません。
- 決算日 [各ファンド(マネープールファンドを除く)]
毎月16日(該当日が休業日の場合は翌営業日)
[マネープールファンド]
毎年1月、7月の16日(該当日が休業日の場合は翌営業日)
- 収益分配 [各ファンド(マネープールファンドを除く)]
年12回の決算時に分配を行います。
[マネープールファンド]
年2回の決算時に分配を行います。

投資信託に関する留意点

- 投資信託をご購入の際は、最新の投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください。
投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の本支店等にご用意しております。
- 投資信託は、元本保証、利回り保証のいずれもありません。
- 投資した資産の価値が投資元本を割り込むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うこととなります。
- 投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

(18/19)

委託会社およびその他の関係法人

■委託会社(ファンドの運用の指図を行う者)

大和住銀投信投資顧問株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第353号
加入協会/一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

※大和住銀投信投資顧問株式会社は、2019年4月1日に三井住友アセットマネジメント株式会社と合併し、三井住友DSアセットマネジメント株式会社になります。
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第399号
加入協会/一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会、
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

■受託会社(ファンドの財産の保管および管理を行う者)

三井住友信託銀行株式会社

■販売会社

次頁の販売会社一覧をご覧ください。

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

(19/19)

販売会社一覧

取扱販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問 業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
藍澤証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第6号	○	○	
株式会社あおぞら銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第8号	○		
株式会社イオン銀行(※1)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○		
池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第370号	○		
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○		
SMBC日興証券株式会社(※2)	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○
FFG証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第5号	○		
オーストラリア・アンド・ニュージーランド・バンキング・グループ・リミテッド(銀行)(※2)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第622号	○		
香川証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第3号	○		
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○		
極東証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第65号	○		○
寿証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第7号	○		
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○	○	
株式会社新生銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○	○	
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○		
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○	○	○
とちぎんTT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第32号	○		
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○		○
西日本シティTT証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○		
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○	○	
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○		
株式会社百十四銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第5号	○	○	
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○		
ほくほくTT証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長(金商)第24号	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	
丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第20号	○		
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第54号	○	○	○
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第181号	○	○	
むさし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第105号	○		○
めつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1771号	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○
リテラ・クリア証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第199号	○		
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第8号	○		

(50音順)

(※1) インターネットのみのお取り扱いとなります。

(※2) 新規の募集の取り扱いおよび販売業務は現在行っておりません。

※マネーボールファンドの取得申込みは、各ファンド(マネーボールファンドを除く)からスイッチングした場合に限ります。

※販売会社によっては、スイッチングのお取り扱いがない場合があります。詳しくは各販売会社にお問合せください。

※販売会社によっては、お取り扱いを行っていないコースがあります。詳しくは各販売会社にお問合せください。

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等で用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。